| 学校番号 | 201 |
|---|---|

# 平成 31 年度　美術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅱ | 単位数 | 1 単位 | 年次 | 2 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校生の美術 2（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

具体的なものを見て描く絵画、抽象的な美しさを発見する立体、偶然性や技法の面白さを体験する版画について学習します。
美術Ⅰで学んだことをもとに、より広い範囲で美的な体験をし、自分の表現を深めましょう。
さまざまな美術作品を鑑賞することでより深く、美術作品のよさを感じ取れるようになりましょう。

2　学習の到達目標

美術Ⅰをもとに、より幅広い創造活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:美術への関心・意欲・態度 | b:発想や構想の能力 | c:創造的な技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 | 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 | 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。 | 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 制作の様子<br>アイデアスケッチ<br>鑑賞活動やグループワークの様子 | アイデアスケッチ<br>制作途中の作品<br>作品 | 制作途中の作品<br>作品 | ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 一学期 | ドローイングから水彩へ | 【絵画】<br>◆静物、校内風景などのモチーフを線によって表現する。<br>◆鉛筆、ペン、コンテと描画材を変え、さまざまなテクニックでそれぞれのモチーフを表現する。<br>◆水彩絵具で植物を再現でなく,どう「表現」するか、ものの見方、感じ方を考える。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 主題の追求<br>b: モチーフを表現することを理解したか。<br>c: 対象物から何を引き出したか<br>d: 自発的・自主的な取り組みと持続性 | ◆作品<br>◆学習態度<br>◆その他(提出物等) |
| 一学期 | うつくしいかたち 石彫 | 【彫刻】<br>◆自然物、人工物をモチーフに単純化、抽象化することからオリジナルの「うつくしいかたち」を生み出せることを理解する<br>◆小刀、彫刻刀でおおまかな掘り出しから細部の彫り込みを実習を通じて理解する。<br>◆三次元の表現について理解する。<br>◆安全に道具を使用することを学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 主題の追求<br>b: テーマを表現することを理解したか。<br>c: 道具を安全に使用することができたか<br>d: 自発的・自主的な取り組みと持続性 | ◆作品<br>◆学習態度<br>◆その他(提出物等) |
| 夏休み | 鑑賞レポート | 【鑑賞】<br>高校展を鑑賞し、鑑賞レポートを書く | ○ | | | ○ | a:関心を持った鑑賞<br>b:<br>c:<br>d: 作品の理解 | ◆提出物(レポート) |
| 二学期 | ステンドグラスのデザインパネル | 【デザイン】<br>◆ステンドグラス(ティファニー式)の手法でデザインパネルを制作する。<br>◆具体的なものを単純化して表現する。<br>◆効果的な配色、デザインについて考察する。<br>◆ガラスカット、研磨、銅テープ、ハンダ付けなどの工程を理解しする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 主題の追求<br>b: テーマを表現することを理解したか。<br>c: 安全に作業することができたか<br>d: 自発的・自主的な取り組み、自分なりの工夫をこらせたか | ◆作品<br>◆学習態度<br>◆その他(提出物等 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | エッチング制作 | 【版画】<br>◆間接表現である版画の特性を理解し、自分のテーマを効果的に表現する。<br>◆線の密度による表現を理解し、制作に生かす。<br>◆彫りから腐蝕、刷りに至る、凹版画の手順を理解し、自分の作品を美しく仕上げる。<br>◆完成作品を展示し、お互いの作品を鑑賞する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 主題の追求<br>b: テーマを表現することを理解したか。<br>c: 版画の工程が理解できたか<br>d: 自発的・自主的な取り組みと持続性 | ◆作品<br>◆学習態度<br>◆その他(提出物等 |

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。